

甘味資源作物の安定生産支援 (甘味資源作物産地強化緊急対策事業)

【1, 545百万円】

対策のポイント

甘味資源作物の増産や安定生産を図るため、地力の増進など特に重要な取組や機械導入等を支援します。

<背景／課題>

- ・さとうきびは沖縄県及び鹿児島県南西諸島において地域経済を支える基幹作物ですが、近年は台風や干ばつ等の自然災害により不作が続いており、地域経済を活性化するためには、さとうきびの生産構造の安定化が必要です。
- ・また、平成27年8月に国内で初めてジャガイモシロシストセンチュウの発生が確認されたことから、早急にまん延防止対策を講じる必要があります。

政策目標

- さとうきびの生産量を増加
(116万トン(平成26年度)→153万トン(平成37年度))
- かんしょの生産量を増加
(89万トン(平成26年度)→94万トン(平成37年度))
- ばれいしょの生産量を増加
(246万トン(平成26年度)→250万トン(平成37年度))

<主な内容>

1. さとうきび産地構造改革緊急対策

1, 170百万円

地域ごとの「さとうきび増産プロジェクト」に定めた取組のうち、地力の増進など特に重要な取組を支援するとともに、生産構造の安定化を図るため、株出管理機の導入等を支援します。

〔補助率：定額、リース料の6／10以内〕
事業実施主体：生産者組織等〕

2. いも類産地確立支援事業

375百万円

(1) かんしょ産地緊急強化対策支援

かんしょについて、近年の低温・寡照の影響等による収量の低迷からの回復を図るため、適期作業による収量増加などを可能とするマルチ栽培を行う機械の導入等を支援します。

〔補助率：1／2以内〕
事業実施主体：生産者組織等〕

(2) ばれいしょの病害虫のまん延防止のための施設等整備支援

ジャガイモシロシストセンチュウのまん延防止を図るため、農業機械や収穫物の運搬車両を農作物の集荷施設において洗浄する施設等の整備等を支援します。

〔補助率：1／2以内〕
事業実施主体：生産者組織等〕

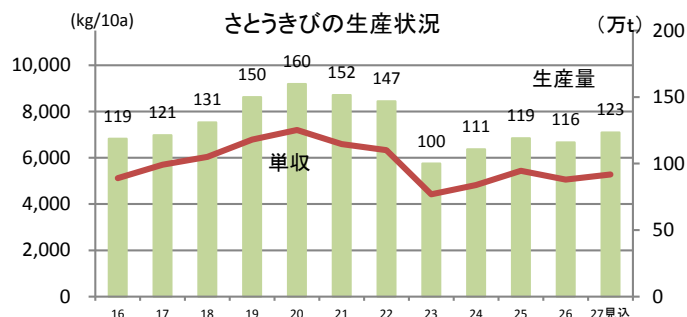
[お問い合わせ先：政策統括官付地域作物課 (03-3501-3814)]

甘味資源作物産地強化緊急対策事業

【平成27年度補正予算額: 1, 545百万円】

さとうきび産地構造改革緊急対策

- さとうきびは沖縄県及び鹿児島県南西諸島において、地域経済を支える基幹作物であるが、近年は台風や干ばつ等により不作が続いている。
- 地域経済を活性化するためには、地域の基幹作物であるさとうきびの増産が必要であり、平成27年に改定した「さとうきび増産プロジェクト」に定めた取組のうち、地力の増進など地域において特に重要な取組を支援するとともに、気象災害等を受けても再生産が確保できるよう生産構造の安定化を図る取組に対して支援を行うことで、さとうきびの「増産」を確実なものとする。



島ごとの増産プロジェクトの改定

<内容>

- 島ごとの主な課題
- 増産に向けた生産目標(作型別の面積、単収、生産量等)
- 目標達成に向けた取組計画(経営基盤、生産基盤、技術対策等)

増産推進支援

増産プロジェクトに定めた特に重要な取組を支援。

<取組例>

- 新たな品種の導入
- たい肥等による地力の増進
- 交信かく乱フェロモンチューブの活用 等



たい肥の散布



フェロモンチューブによる交信かく乱

生産構造対策

収量の低下に対し、再生産が確保できるよう生産構造の安定化を図る取組を支援。

<取組例>

- 適期植付、適期株出管理を行うため、収穫機と株出管理機等を一体的に導入



収穫機



植付機



株出管理機

かんしょ産地緊急強化対策支援

かんしょの収量を安定化・向上させるためには、植付の早期化など適期の作業の実施が重要。適期に作業を実施するため、マルチ張り機や挿苗機等の導入を支援し、収量増加を推進。



マルチ張り機



挿苗機

ばれいしょの病害虫のまん延防止のための施設整備等支援

平成27年8月に国内で初めてジャガイモシロシストセンチュウの発生を確認。まん延を防止するため、運搬車両を農作物の集荷施設において洗浄する施設の整備等を支援。



車両洗浄機